

平成28年度第4回総合教育会議 会議録

開催日時	平成29年2月16日(木) 午後1時30分～				
開催場所	陸上競技場管理棟 会議室				
会議出席状況	市長	津久井富雄	出席		
	教育長	植竹福二	出席		
	教育委員	深澤道昭	出席	川上聖子	出席
		車田宏之	出席	小林朋子	出席
		森泉	出席		
	庶務	教育部長	益子正幸	教育総務課長	大森忠夫
		学校教育課長	月井祐二	スポーツ振興課長	相馬天子
		教育総務課	遠藤久子・川崎優志		
		スポーツ振興課	大島実・印南隆		

次 第

- 1 開 会 午後1時30分～
- 2 あいさつ 市長
- 3 議 事
 - (1) 親園・佐久山中学校統合に向けた準備状況について
 - (2) 小中一貫教育について
 - (3) 陸上競技場第3種公認更新について
 - (4) 第30回大田原マラソン大会について
 - (5) 大田原西地区都市再生整備計画事業について
- 4 そ の 他 特になし
- 5 閉 会 午後2時45分
- 6 会議の要旨 次のとおり

平成28年度 第4回大田原市総合教育会議

平成29年2月16日（木）
午後1時30分～3時00分
陸上競技場管理棟 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

- (1) 親園・佐久山中学校統合に向けた準備状況について
- (2) 小中一貫教育について
- (3) 陸上競技場第3種公認更新について
 - ・平成24年10月17日認定
 - ・平成29年10月16日満了
- (4) 第30回大田原マラソン大会について
- (5) 大田原西地区都市再生整備計画事業について
 - ・駐車場整備について

4 その他

5 閉会

平成28年度 第4回大田原市総合教育会議 発言要旨

平成29年2月16日(木)

開会：午後1時30分から

- 教育部長 定刻となりましたので、ただいまから、平成28年度第4回 大田原市総合教育会議を開会いたします。
私は教育部長の益子でございます。本日の進行を務めさせていただきます。
初めに、本会議の主催者であります、津久井市長があいさつを申し上げます。
- 市長 (市長 あいさつ)
一昨日、県市長会の研修に出席しまして、北海道函館市へ参りまして、DC(ディスティネーションキャンペーン)の研修を受けてまいりました。雪が降っておりました。今後、大田原市でも実施してまいりますので、大田原のよいところをアピールできればと感じております。
本日は、年度最後の総合教育会議となりますので、議題も5つほどありますが、教育委員のみなさんのご意見をうかがえればと思っております。
- 教育部長 ありがとうございます。
- 教育部長 それでは、次第の3 議題について協議していただきます。ここからの議事進行は、大田原市総合教育会議設置要綱第4条第1項の規定に基づき、津久井市長が行います。
- 市長 円滑な議事運営に努めさせていただきたいと思っておりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。
本日の議題は次第3に記載のとおり5件でございます。
まず、(1)親園中学校・佐久山中学校統合に向けた準備状況について事務局の説明後、協議をお願いいたします。
- 教育総務課長 (1)親園・佐久山中学校統合に向けた準備状況について
・PTA役員、先生方、地域の方々の代表者で準備委員会を組織し、それぞれ、校務部会、PTA活動部会、関係機関調整部会を設置。役割に応じて、統合の実務的なすり合わせを実施する。
・役割について
準備委員会(本部) 各部会のスケジュールや進捗状況を管理
校務部会 先生方を中心に学校運営に関する具体的な準備・調整
PTA活動部会 PTA規則、各種行事などPTA関連の調整
関係機関調整部会 公民館活動や自治会活動など上記に属さない部分の連絡調整
・第1回準備委員会 12月20日実施
準備委員長 増淵校長、副委員長 池澤校長を選任。
(検討事項)制服・ジャージ等、生徒が使用する用品類について協議した結果、制服については、男子は共通の学生服で問題ないが、女子については、親園中のものを使用することで調整してまいります。ジャージについては、佐久山中学校のデザインを採用し、校名の刺繍を親園中に変更することで合意しております。その他用品類については、校務部会で調整することとしております。

○教育総務課長 なお、統合前に購入した制服やジャージについては、改めて買い替えを強制するものではなく、統合後も引き続き使用することは可能としております。また、制服については、卒業生のものをリサイクルして使用できるように親園中を卒業する保護者さんの協力をお願いしてまいります。

○教育総務課長 統合までのスケジュールについて、両校の先生方に作成していただいております。短期間での統合となりますので、交流事業や生徒に配慮した事業を盛り込み実施してまいります。

統合後の校章のデザインであります。佐久山中学校のものを背景に親園中学校の文字を重ね併せまして、両校の歴史・文化を継承していくというデザインとなっております。

以上が現在の佐久山・親園中学校統合に向けた準備状況であります。

○市 長 ありがとうございます。皆様からご意見をいただきたいと思っております。

○森委員 「統合だより」について、全戸配布ということですが、第1回、第2回の内容から第3回とでは、進み具合が性急ではないか、という意見も近所からあるが、検討委員会ではどうだったのでしょうか。

○教育総務課長 急ぎ過ぎではないかという意見が、事務局に来るという事はこれまでもありませんでしたが、やはり検討委員会の一つの意見としては、時間があまりにもないのではないかと、ということもありました。

しかしながら、検討委員会の前田委員長をはじめ、高橋副委員長もいつまでも時間を掛けては決まるものも決まらないので、どこかで折り合わなければならないでしょう、ということで結論に至ったわけです。

その中で、検討委員のみなさんには、お互いに譲り合っていたことで、うまく話がまとまったと感じております。

中には、親園中の校歌がなくなってしまうのは寂しいとメールを寄せる方もおりましたが、検討委員会ではそれぞれの歴史を継承していくという部分で、校舎は親園中、校歌は佐久山中とお互いに譲りあっていただくことで合意してまいりました。

○市 長 統合に関しては、お互いに100%合意するという事は難しいでしょうから、前田委員長の大局的な見地からリーダーシップを発揮いただいたことと思っております。

地域としては、統合はやむなしというところから検討を重ねておりますので、議論を尽くしても平行線をたどることになりますので、このような英断をされたのかと思っておりますので、どうかご理解願いたいと思っております。

○深澤委員 順調に進んでいるのかと思っております。今後も、保護者や生徒さんの負担をできるだけかけないように進めてほしいと思っております。もう一つ、スケジュールを見ても、事業など多岐に渡っておりますので、先生方のご負担がたいへん大きくなると思っておりますので、体調や気持ちの面でも、十分に配慮していただければと思っております。

○教育長

深澤委員のご意見もありましたが、現在たいへんな苦勞を先生方もしております。このような大きな事業を1年間で成功させるためにも先生方には精一杯頑張ってくださいよう指示しておりますので、皆様のご協力やご支援もよろしくお願ひしたいと思います。

○市長

ありがとうございました。意見も出尽くしたようですので、次の議題に入りたいと思います。

つづきまして、(2)小中一貫教育について事務局より説明をお願いいたします。

○学校教育課長

(2)小中一貫教育について

・新たにパンフレットを作成し、小中一貫教育に関する情報を提供しております。

・特に大田原市の重点目標として、英語教育に力を入れていくこと、ICT技術を生かした教育を展開していくこと、地域の声を反映させていくこと、この3つを柱として展開してまいります。

・若草中、金田北中学校区では4月からスタートしてまいります。パンフレットでは、写真を交えて取組の様子を掲載しております。また、若草中では、中学校の教員が小学校に出向き授業を行っておりますし、具体的な活動がすでに進んでおります。金田北中学校区では、キャリア教育に力を入れるということで、小学生のマイワーク、中学生のわくわくチャレンジワークなど具体的に取組んでおります。

・中学校区それぞれの特色を生かした一貫教育を進めてまいります。また、この両輪となりますコミュニティスクールについても準備中であります。

・これまでも学校の運営を協議する学校運営協議会というものを組織してりましたが、文部科学省では、新たにコミュニティスクールの設置を努力義務として打ち出しております。本市では、平成30年度からコミュニティスクールを実施できるように現在準備中であります。

・若草中学校区、金田北中学校区の先生方が、市内各地区の中学校区に出向き、保護者向けに小中一貫教育とはこういうものであるという研修会をすでに実施しております。保護者の方の中には、小中一貫教育と学校の統廃合を重ねて考えている方もいらっしゃるようですので、その辺を別物であることを丁寧にご説明しております。

・下野新聞誌上での小中一貫教育の成果について、須賀川小の英語教育の取組み、プログラミング教育について、石上小の成果が記事になっております。

・那須町で実施されたプログラミング教育についての研修会に参加した際に、地域の方が講師として授業に参加されており、学校運営協議会やコミュニティスクールの中でも、このような地域の人材を活かすことは視野に入れてまいりたいと考えております。

・プログラミング教育については、市内でも大田原小学校で、40名以上の教員を集めて研修会を実施しております。また、パソコンを使用しない授業づくりが提案され、満足度は高いものとなっております。これは、パソコンを使用する前の導入部分で使用することが最も効果的であることも実証されております。

以上のとおり、現在小中一貫教育の取組みについて報告いたします。

- 市 長 事務局の説明が終わりましたので、協議に入ります。ただいまの説明に対し、質問や御意見、御感想などはございますか。
- 市 長 小中一貫教育については、各先生方のご協力もあり、スピーディーに進んでいるようで感謝申し上げます。中には、ご説明にもあったとおり、学校の統廃合と勘違いしている方もあるようですので、今後も丁寧にその違いを説明していただければと思います。
現状で大きな障害はありますか。
- 事務局（学校教育課） 特にありません。順調に進んでいると確信しております。
- 市 長 ありがとうございます。また、プログラミング教育につきましては、DeNAの南場社長さんのお話ですが、日本はこれを指導するような機関はほとんどないですが、アメリカでは、特に上位層の方々がプログラミング教育のスクールにこぞって通わせているそうでありませう。本市においても、うまく取り入れていただき、低学年、中学年、高学年に浸透させていってほしいと思います。
- 川上委員 プログラミング教育の体験を委員さんにもしてみてもはどうでしょうか。
- 市 長 是非やってみてはよろしいのではないのでしょうか。教育委員会で実施してほしいと思います。
- 市 長 つづきまして、（3）陸上競技場第3種公認更新についてから（5）大田原西地区都市再生整備計画事業につきまして、一括して事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局（スポーツ振興課）
- （3）陸上競技場第3種公認更新について
- 【競技場概要】**
- ・新陸上競技場は、平成19年10月に竣工し、同時に日本陸連の第3種公認競技場として登録。
 - ・トラック 1周400m、9レーン
 - ・フィールド 走り幅跳び、高跳び、棒高跳び助走路
砲丸投げ、円盤投げ、やり投げ
 - ・管理棟 昭和62年度建設 H19 写真判定室を増設
 - ・観客席 スタンド席：1,790名 芝生席：1,710名 計3,500席
 - ・外周ジョギング走路 1周628m
 - ・日本陸連公認の大田原マラソンコース発着点
- 【公認更新にかかる修理概要】**
- ・100m直走路の摩耗・経年劣化による弾力性の衰退
 - ・1レーン（曲走路及びバック走路）全体の改修（縁石含む）
 - ・ルール改正による最新のラインマーキング
 - ・各跳躍助走路の摩耗及び経年劣化による弾力性の衰退
 - ・やりなげ助走路の摩耗及び経年劣化による弾力性の衰退
- 【修理に係る予算措置】**
- ・全体で53,300千円（H29 29,800千円 H30 23,500千円）
 - ・物品関係 9,370千円

【公認手続きについて】

- ・平成29年10月に公認が満了するが、陸上競技シーズン中のため、平成30年3月まで延長の申請予定。
- ・修繕工事が1年度で完了できないため、日本陸連と協議の結果、検定合格に必要な箇所の記事を先行し、残りを直送路及び助走路の改修を次年度に実施する。
- ・会議後、トラック内を視察

(4) 第30回大田原マラソン大会について

【大田原マラソン大会の概要】

- ・県内唯一の日本陸連公認コース
- ・第29回大会の概要

○マラソンの部

申込 3,783名 出走 2,873名 完走 2,215名
完走率 77.1% (前年 82.2%)

○10キロの部

申込 763名 出走 642名 完走 599名
完走率 93.3% (前年 94.6%)

全体として、強風のため例年よりもリタイヤ者が多かった。

【パリマラソン派遣について】

- ・大田原マラソン上位入賞者（1位から3位）を男女3名計6名派遣。
- ・4月6日から13日まで 大会は4月9日午前8時45分スタート

【その他】

・大会協力員を募集 中学生283名 市内6校から主に競技場、コース内の給水箇所業務に従事 生徒の良い経験になったと好評価を得ている。次回は全校に声をかけて協力を募りたい。

【第30回記念大会について】

- ・マラソンの部完走者に記念品を進呈予定
- ・入賞者の枠の拡大
- ・コース紹介のプロモーションビデオを撮影し、市HPやフェイスブックでPRしていく
- ・記念大会としてビデオ撮影も考えている
- ・これらを通して、出走者の増加、記念大会を盛り上げていきたい。

(5) 大田原西地区都市再生整備計画事業について

【駐車場整備について】

- ・市道県北体育館西線調整池整備事業に伴う臨時駐車場を整備。
- ・平成29年3月竣工 3,364㎡ 約130台駐車可能
美原公園内 790台駐車可能となった。(20%増)

○小林委員

陸上競技場の貸し出しについて、テニスコートは頻繁に利用している状況を見ておりますが、一般の方にどの程度貸出しているのでしょうか。

以前は、囲いもなく自由に利用することができましたが、このような競技場になってからは、外側にジョギングコースを設けており、トラックを利用するということはほとんどありません。しかしながら、ジョギングコースについても、トラック内のウレタン樹脂と同様のものを敷いておりますので、利用者からは、特に中に入って走らなくてもいい、という意見もいただいております。

○事務局（スポーツ振興課）

ジョギングコースについては、当初それほど利用者を見込んでおりませんでした。現在はたいへん多くの方にご利用いただいております。

場内の利用が全くないということではありません。平日の午前など利用される方もいらっしゃいます。土日については、中高生などの部活動に混ざって一般の方も数は少ないですが、ご利用いただいております。

○市長

使用料はいただいていますか。

○事務局（スポーツ振興課）

1時間100円となっております。

○車田委員

ここは第3種ということですが、第1種、第2種とはどんなものですか。また、野球やサッカーでも公認などあるのでしょうか。

○事務局（スポーツ振興課）

陸上競技場の公認は、第1種から4種まであります。第1種はオリンピックで使用するようなスタジアムで、収容人員60,000人以上などハードルが非常に高くなっております。

第2種については、この美原競技場も規格自体は、第2種なのですが、付属する施設が足りませんので、第3種の公認となっております。足りない施設としては、サブトラックと座席数となります。

第4種はウレタン製でなくても公認をいただける施設となっております。

野球場、サッカーの公認については、くわしくありませんが、野球であれば、両翼何メートルや客席数、防球ネットの高さなどが基準となるものと思われま。

○市長

国体のソフトボールについてはどうですか。

○事務局（スポーツ振興課）

国体開催の基準はソフトボールすべての種目でクリアしております。

○事務局（スポーツ振興課）

捕捉として、平成27年度の状況ですが、利用日数324日、1,199回、延べ44,994名の利用がありました。陸連の公認コースということもあり、那須地区の方々に幅広く利用されている施設であります。

○市長

事務局からの話もありましたが、那須地区を代表する陸上競技場ですので、定住自立圏構想の中でも大いに利用してもらい交流の幅も広げていただきたいと思います。

○市長

ほかに質問や意見はないようですので、以上で議題に関する協議を終了します。

滞りなく議事を進行することができましたことに感謝申し上げます。ここからの進行は事務局にお願いします。

○教育部長

貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。次に、次第の4 その他 に移りますが、皆様から何かございますか。

何もないければ、以上で第4回総合教育会議を閉会させていただきます。お疲れ様でした。

閉会：午後2時45分